

だい ごうぎあん へいせい ねんどじぎょうほうこくしょ
第1号議案 平成18年度事業報告書

ほうじん めいしやう とくていひえいりかつどうほうじんたげんごしやかい
法人の名称 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ (MIC かながわ)

1. 組織運営

(1) 理事会

理事会を下記の日程で開催し、運営方針について検討した。

2006年4月10日、5月15日、6月26日、7月24日、8月24日、9月22日、10月23日、11月20日、12月19日、
2007年1月09日、2月09日、3月13日

(2) 総会

日 時：2006年5月20日 (土) 参加者：会員数 (正会員数) 53名中 39名

場 所：MIC かながわ事務所

よこはましかながわくつるやちやう かながわけんのうぎやうきかいかいかん かい3ごうしつ
横浜市神奈川区鶴屋町3-30-1神奈川県農業機械会館5階3号室

1. 事業の成果

県協働事業では2000件を超える派遣実績で助成金4年目を終了、制度構築に向けて
着実に実績を積んでいる。また独自で派遣している協力病院も含め医療従事者に医療通訳
利用アンケートを、また医療通訳スタッフアンケートも行い、制度構築に結果を反映させたいと考
えている。

医療通訳の普及については、医療通訳国際シンポジウムを開催、

その他、全国から講師派遣依頼等が多く寄せられ、医療通訳に対する関心の高まりを感じた。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療通訳の養成及び認定に係る事業

- 内容、日時、場所

医療通訳派遣システム構築事業 (かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成
事業)

1) 医療通訳スタッフの募集

県のたよりに掲載して募集を行い、8言語45名が応募、研修を行い、最終的に25名が
選考を通過した。英語とハングルは派遣需要が医療通訳スタッフ供給量と均衡している
か下回っていたため、募集しなかった。

2) 医療通訳スタッフの登録

平成2005年度から引き続いての登録者が124名 (うち1名は年度途中で逝去)、今年度

の新規登録者が25名、計148名（うち1名は2言語に重複）が登録した。

3) 医療通訳スタッフ初任者研修

以下のとおり研修を行った。その結果、最終選考を25名が通過した。

第1回 9月16日（土） ①医療通訳派遣システム構築事業 概要の説明

②多文化共生を学ぶ

③講義 医療制度の基礎知識

④講義 医療通訳技術の基礎

第2回 9月30日（土）

①講義 基礎的な通訳技術

②医療知識の基礎

③講義 対人援助スキル

第3回 10月14日（土）

①講義 外国人医療の現状

②医療通訳の事例報告

③各言語別ロールプレイ

第4回 10月28日（土） ①各言語別ロールプレイ

第5回 11月22日（水） オリエンテーション

4) 医療通訳スタッフ現任者研修

現任医療通訳スタッフの資質向上のため、全体研修として、課題検討と専門的内容の講義などを行った。

第1回 7月22日（土） 参加者74名

1. 「対人援助業務従事者自身のメンタルヘルス」講師：山本房江臨床心理士

2. 現場での通訳技術のスキルアップ「大勢の中で通訳する -病状説明などの家族セッションに備えて-」モデレーター：森田直美プロ通訳者・医療通訳スタッフ（英語）

第2回 3月17日（土） 参加者74名

1. 「医療通訳が事故を回避するための戦略～ヒヤリ・ハット事例の検討～」

講師・ファシリテーター：沢田貴志港町診療所所長・MIC かながわ理事

2. 「目指すべき医療通訳者の姿～グループ別ブレインストーミング～」

ファシリテーター：鶴田光子静岡英和学院大学社会福祉学部教授・MIC かながわ理事長

3. 「医療通訳の制度化に向けて」ガイト：西村明夫MIC かながわプログラムアドバイザー

参加者：77名

また、日常的な資質向上のため、言語別グループ等の勉強会を以下のとおり行った。:

スペイン語11回、ポルトガル語2回、中国語5回、英語5回、タイ語11回、タガログ語2回、病理学5回
特に、このなかでタイ語グループは、(財) 俱進会からの助成金100万円を獲得してタイ語・

英語・日本語医療用語集作成に取り組んでいることは特筆したい。

5) コーディネーター研修

18年度については課題が医療通訳スタッフと共通であったため、医療通訳スタッフ現任者研修と合同開催で行った。

6) 公開講座

医療通訳のノウハウを広く一般の方に知っていただくために、公開講座を実施した。

1) 英語医療通訳実践講座 1月20日、1月27日、2月3日(土) 全3回 23名参加

2) 医療<スペイン語・中国語>基礎講座

スペイン語 1月13日~3月10日(土) 全9回 10名参加

中国語 1月19日~3月16日(金) 全9回 3名参加

7) その他 講師派遣など

・医療相談担当者と保健・医療・福祉行政関係者のための外国人H I V陽性者支援セミナー

講師派遣 7月31日(月)

・宮崎県国際交流協会「在住外国人支援(災害・医療現場でのコミュニケーション)講座」

講師派遣 8月26日(土)

・出羽庄内国際村「コミュニティ通訳養成講座 医療編」講師派遣 8月26日(土)、9月9日(土)

・しまね国際センター「コミュニティ通訳養成講座」講師派遣 8月26日(土)~27日(日)、9月

12日(火)~14日(木)、9月26日(火)~27日(水)、10月10日(火)~11日(水)

・千葉県外国人こころの医療通訳養成講座講師派遣 8月30日(水)

・神奈川県保健福祉部健康増進課「エイズ・カウンセリング研修」参加10月3日(火)4日(水)

・MITA会 参加発表 9月20日(水)

・かわさきコミュニケーションボランティア養成講座 講師派遣 10月30日(月)

・千葉県国際交流センター「医療・保健福祉のコミュニティ通訳研修」講師派遣 10月25日(水)

・(財)エイズ予防財団「通訳ボランティア」研修会11月18日(土)19日(日)

新潟県国際交流協会「英語医療通訳入門講座」講師派遣 11月19日(日)

・吹田市国際交流協会「コーディネーター研修」講師派遣 1月13日(土)

・長野県「医療通訳養成講座」講師派遣 1月14日(日)、20日(土)、2月3日(土)、4日(日)

・埼玉県国際交流協会「専門通訳ボランティアレベルアップ講座基礎編」講師派遣 1月17日(水)

・群馬県「メディカルインタープリター養成講座」講師派遣 2月14日(水)、2月28日(水)

・茨城県つくば都市振興財団「外国人医療の言語サポート研修会」講師派遣 2月22日(木)

・従業員人員 40名 ・対象者 医療通訳スタッフを志望する者、医療通訳スタッフおよびコーディネーター 医療通訳に関心のある方

・ 支出額 ①事業合計 3,066,431円

② 医療通訳の派遣

・内容1. 医療通訳派遣システム構築事業(かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業)

1) 医療通訳スタッフの派遣

協力病院(16病院)からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが医療通訳スタッフを派遣した。

表) 言語別実績

医療機関	中国語	スペイン語	ポルトガル語	ハンガール	タガログ語	タイ語	英語	カンボジア語	ベトナム語	ラオス語	合計
済生会病院	48	51	3	10	12	10	8	0	0	0	142
横浜市立病院	20	29	0	0	5	2	13	0	1	1	71
横浜中央病院	48	1	0	8	3	0	11	0	0	0	71
横浜市大病院	29	72	26	6	8	1	2	0	0	0	144
循環器病センター	6	45	5	6	0	11	1	0	0	0	74
こども医療センター	40	19	15	0	7	26	14	0	5	0	126
聖マリアンナ	0	0	15	0	15	0	5	0	0	0	35
太田総合病院	20	152	24	0	0	0	120	0	0	0	316
川崎市立川崎病院	10	46	3	0	1	18	13	0	0	0	91
衣笠病院	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
茅ヶ崎徳洲会病院	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	6
東海大学病院	28	383	187	0	0	2	11	6	0	13	630
海老名総合病院	4	90	13	7	2	11	47	0	7	0	181
厚木市立病院	8	43	4	0	0	4	5	0	0	0	64
北里大学病院	3	160	23	0	2	6	5	0	1	0	200
足柄上病院	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4
合計	264	1093	326	37	56	96	255	6	14	14	2161

病院別・診療科別実績

	済生会神奈川	横浜市立市民	社保横浜中央	市大センター	循環器病センター	こども医療	聖マリアンナ	太田総合	川崎市立	総合病院衣笠	茅ヶ崎徳洲会	東海大学病院	海老名総合	厚木市立	北里大学病院	足柄上病院	合計
内科	11	16	4	4	0	0	4	73	21	4	0	115	50	31	43	0	376
外科	22	5	1	0	0	15	0	7	4	0	1	61	2	7	14	0	139
形成外科	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	31	7	1	9	0	55
耳鼻咽喉科	2	1	0	18	0	4	0	24	5	0	0	18	12	0	12	0	96
リハビリテーション	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	5
神経内科	0	4	0	0	0	9	5	3	0	0	0	12	1	0	4	0	38
その他	0	3	18	38	75	64	0	1	3	0	0	40	9	0	3	0	254
小児科	12	2	0	8	0	3	1	10	8	0	0	81	14	12	27	0	178
脳神経外科	7	0	2	3	0	0	0	2	0	0	0	8	0	5	0	0	27
産婦人科	55	29	2	39	0	11	17	130	45	3	5	120	33	5	25	4	523
皮膚科	10	1	0	4	0	0	7	10	1	0	0	41	35	1	3	0	113
放射線科	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
精神科	0	0	0	13	0	2	0	0	0	0	0	54	0	0	3	0	72
消化器科	0	0	17	13	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	9	0	78
整形外科	6	4	3	5	0	1	0	48	3	0	0	51	10	5	13	0	149
眼科	13	2	13	1	1	15	0	13	6	0	0	18	9	3	19	0	113
泌尿器科	6	1	4	0	0	9	2	6	0	0	0	18	12	2	21	0	81
麻酔科	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
歯科	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
合計	144	73	81	150	76	137	36	328	97	7	6	708	195	72	208	4	2322

2) コーディネート業務

かながわ県民センター2階「県民の声・相談室」の第3ブースにて15名のコーディネーターが当番制で月～金曜日、9時～12時／13時～16時、コーディネート業務に就いた。

コーディネーター会議を毎月1回開催し、通訳派遣に関する連絡、課題検討を行った。

3) 検討協議会の設置・参加

検討協議会および医療部会を9月11日、12月25日（月）、3月29日（木）、行政部会を9月11日、12月25日（月）、3月16日（金）、に開催。「医療通訳派遣システム検討協議会」および検討部会として行政・医療合同部会（9月11日、12月25日（月）、3月29日（木）、に開催）を設置、19年度の病院負担の試験的導入や、将来の費用負担等について検討した。

4) 関係機関との連絡調整

協働の相手である県国際課と5月15日、5月22日、6月7日、10月10日、10月13日、11月15日、1月10日、1月31日、2月6日、2月15日、2月20日に調整会議をもった。

- 日時 2006年4月1日から2007年3月31日まで
- 場所 神奈川県内 ・ 従業員人員155名 ・ 対象者 医療通訳を必要とする協力病院16

内容2 医療通訳派遣事業

1) 医療通訳スタッフの派遣

横浜市内の医療機関へ医療通訳スタッフの派遣を行った。年度当初から覚書取り交わしが前年度に比べ大幅にスムーズに進み、医療通訳の受け入れが各医療機関に浸透している感触が得られた。また、費用負担する医療機関も増え、医療通訳にかかる経費について医療機関側の理解が深まった成果とみられる。依頼は375件、派遣347件。

2) 費用負担

医療機関に医療通訳受け入れにあたっての説明をした上、同意を得てから、医療通訳スタッフの派遣を行った。費用負担については以下のとおり。その他の病院は患者負担。

病院負担：神奈川県立汐見台病院、県立がんセンター、国際親善総合病院、昭和大学付属藤が丘病院、港町診療所、横浜市立大学医学部付属病院、横浜労災病院、金沢病院

協力会員：横浜南共済病院（年5万円：月2件平均）

- 日時 2006年4月1日から2007年3月31日まで

- ・ 場所 横浜市内 従 業 員 人 員 1 5 0 名 ・ 対 象 者 医 療 通 訳 を 必 要 と す る 協 力 医 療 機 関 等 15

病 院 別 ・ 言 語 別 派 遣 実 績 一 覧

病 院 名	ス ペ イ ン 語	ポ ル ト ガ ル 語	中 国 語	ハ ン グ ル	タ ガ ロ グ 語	英 語	タ イ 語	ベ ト ナ ム 語	カ ン ボ ジ ア 語	そ の 他	計	患 者 来 院 せ ず	キ ャ ン セ ル
県立汐見台病院	49	8	6	0	3	23	5	0	0	0	94	1	3
県立がんセンター	13	0	0	0	0	0	1	0	0	0	14	1	0
国際親善総合病院	0	0	42	0	0	5	0	10	0	0	57	1	7
国立病院機構横浜医療センター	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1
昭和大学藤が丘病院	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0
昭和大学横浜市北部病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
済生会横浜市南部病院	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
聖マリアンナ医科大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
東部地域療育センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
港町診療所	50	1	0	0	0	0	2	0	0	0	53	0	0
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	36	0	0	0	3	2	3	0	0	0	44	1	5
横浜新緑総合病院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
横浜南共済病院	55	0	7	0	0	0	0	0	0	0	62	0	4
横浜労災病院	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	7	0	1
戸塚共立第2病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
松島クリニック	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0
金沢病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	213	12	56	1	6	38	11	10	0	0	347	5	21

内 容 3 そ の 他 の 医 療 通 訳 派 遣

上記 2 事業 に対応 しない 医療 機関 等 や 言 語 について、医 療 通 訳 ス タ ッ フ を 派 遣 し た。依 頼 1 1 2 件、派 遣 1 0 1 件。う ち 厚 木 市 立 病 院 (協 働 事 業 対 応 外)、川 崎 保 健 福 祉 セ ン タ ー、国 立 が ん セ ン タ ー (一 部)、県 立 こ ど も 医 療 セ ン タ ー (協 働 事 業 対 応 言 語 外)、港 北 福 祉 保 健 セ ン タ ー、県 立

総合療育相談センター、相模原協同病院、総持寺母子寮、都筑福祉保健センター、東海大学
病院（協働事業対応外）、都立駒込病院、大和市立病院（一部）、横浜市日野保育園、横浜労災
病院は、通訳派遣費用を派遣先機関が負担した。

- 日時 2006年4月1日から2007年3月31日まで ・場所 神奈川県内および東京都内
- 従業員人員 46名 ・対象者 内容1、内容2の事業で対応しない医療機関

横浜市国際交流協会「よこはま横浜 やさしい日本語版」医療通訳派遣情報掲載
鶴見区役所「手をつなごう！つるみ」Q&A コーナー 医療通訳派遣情報掲載

支出額 ②事業合計 8,865,761円

③ 災害時・緊急時の通訳等に関する活動

内容1 一般通訳派遣事業

「かながわ一般通訳支援事業」を神奈川県国際課から受託、通訳協力者の派遣
コーディネーターおよび研修を行った。

通訳協力者研修

〔日時〕2007年 3月1日（木）14:00～16:00 〔場所〕かながわ県民センター402会議室

〔内容〕「家庭裁判所の調停について」「調停委員が期待する通訳」英語によるシミュレーション

〔講師〕横浜家庭裁判所書記官 野地 一雄、岩崎、調停委員2名（匿名）

- 日時 2006年4月1日から2007年3月31日 ・場所 神奈川県内 ・従業員43
- 対象者 日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

内容2 神奈川県消防学校救急隊員教育訓練事業外国語講座へ講師派遣

日程 7月13日（木）、1月12日（金）（英語・中国語・スペイン語）

場所 神奈川県消防学校 ・従業員人員 4名

対象者 救急救命士教育訓練講座受講中の者 250名

内容3 その他研修参加等

11月15日（水）神奈川県国際課「災害時の外国人支援ボランティア研修」参加

財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部 通訳派遣契約

支出額 ③事業合計 1,033,050円

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

・ 内容 日本語を母語としない住民のための健康相談会

港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に、広報、通訳派遣等の協力を行った。

・ 日時及び場所

① 貝塚カトリック教会	5月14日	受診者	43名
② 中華街・横濱華僑基督教教会	10月1日	受診者	157名
③ 大和カトリック教会	10月22日	受診者	82名
④ 藤沢カトリック教会	11月5日	受診者	38名
⑤ 平塚カトリック教会	11月19日	受診者	42名 (新規)
⑥ 鶴見福祉保健センター	1月28日	受診者	142名
⑦ 川崎市立桜本小学校	2月25日	受診者	36名 (新規)

NPO法人シェア=国際保健協力市民の会 1月21日 (日) 健康相談会チラシ 協力

・ 従業員人員 35名 ・ 対象者 日本語を母語としない住民540名

・ 支出額 ④事業合計 112,000円

⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながることを目的とした医療制度の研究・提言及び人権に関する啓発事業

・ 内容1. 医療通訳派遣システム構築事業 (かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業) 多文化共生社会推進事業 医療通訳セミナーの開催

医療通訳派遣研修等普及事業 (地域国際化協会等先導的施策支援事業補助金)

医療通訳国際シンポジウムを開催、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの先進事例および日本の取り組みをパネルディスカッションし、テーマ毎に参加者によるグループディスカッションを行った。総勢115名の参加で盛会であった。

・ 日時 12月2日 (土) 10時30分～18時「医療通訳セミナー・医療通訳国際シンポジウム」

交流会 18時30分～19時30分(立食による顔の見えるネットワークづくり)

・ 場所 ハウスクエア横浜 ・ 従業員人員 18名

・ 対象者 医療通訳に関心のある全国の行政職員、国際交流協会、通訳ボランティア、一般

・ 内容2

・ 医療通訳派遣システム構築事業 (かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業) 人材育成事業

じんざいいくせいけんとういんかい
1) 人材育成検討委員会

たぶんか けんしゅう けんとういんかい がつ にち がつににち がつ にち がつ にち
多文化ケースワーカー研修プログラム検討委員会を4月3日、5月22日、7月3日、8月4日、
がつ にち がつ か がつ にち がつ か かいさい
10月13日、12月8日、1月29日、3月6日に開催した。

じんざいいくせい いりょう けんしゅう
2) 人材育成セミナー・医療ソーシャルワーカー研修

- ・ テーマ：「外国人の労災問題Q&A」 講師 植田善嗣 (カラバオの会)
- ・ 日時 平成18年11月11日(土) 14:00~16:00
- ・ 場所 神奈川県社会福祉会館4階第1研修室
- ・ 従業員人員 8名 ・ 対象者 外国人に関心のある医療ソーシャルワーカー、医療通訳スタッフ、国際交流協会職員、通訳ボランティア、一般の方 21名

た こうし いいんはけんなど
その他、講師・委員派遣等

- ・ かながわ県民活動ポートセンター「Junction」59号Face to Face・情報相談コーナー取材
- ・ 日本学生支援機構 留学交流5月号 橋を架ける人120 原稿執筆
- ・ 三鷹市企画部企画経営室 平和・女性・国際課推進係 視察 5月31日(水)
- ・ あーすフェスタ 6月3日(土)4日(日) 展示ブース 出展
- ・ ふじせいしんじょしがくいんこうとうがっこう 来訪 7月20日(木)
- ・ 日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科 学生来訪 7月21日(金)、3月2日(金)
- ・ NGOかながわ国際協力会議 9月9日(土)
- ・ 知事と語ろう！神奈川ふれあいミーティング 11月7日川崎会場
- ・ かながわ外国人すまいサポートセンター「行政相談窓口職員多言語対応&相談能力向上研修検討委員会」2月17日(土)、
- ・ 厚生労働省エイズ対策研究事業「NGOによる個別施策層の支援とその評価に関する研究班」医療ソーシャルワーカー向けの外国人診療ハンドブック 全国通訳派遣団体リスト調査協力
- ・ 日本看護協会出版会「看護」取材相談来訪1月19日(金)
- ・ 厚生労働省科学研究費「NGOによる個別施策層への支援とその評価に関する班」調査協力
- ・ 3月15日(木) 医学書院「看護学雑誌」「病院」取材相談来訪

じゅうぎょういんじんいん めい
・ 従業員人員 6名

ししゅつがく じぎょう ごうけい えん
支出額 事業⑤合計 2,436,479円

にほんご ぼご じゅうみん く こ かん そうだんかつどう
⑥日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

- ・ 内容 1 医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談に対応する。相談対応35件
- ・ 日時 2006年4月1日から2007年3月31日 ・ 場所 MIC かながわ事務局

- ・ 内容 2 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談対応に必要な研修等の広報に協力し、参加した。

神奈川県県民部国際課「外国籍県民相談員研修会」広報および参加

カウンセリング技巧研修 6月20日(火)

外国人と労働問題 9月5日(火)

外国人の家族をとりまく諸問題 10月11日(水)

入国管理/在留資格について 1月10日(水)

- ・ 従業員人員 6名

- ・ 対象者 日本語を母語としない住民等 63名

- ・ 支出額 110,000円

⑦日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する団体への連絡、助言又は援助の活動

- ・ 内容、日時、場所

- ・ 移住労働者と連帯する全国ネットワーク機関誌Mネット5月号コミュニティ通訳特集 原稿執筆

- ・ 移住労働者と連帯する全国ネットワークブックレット3「外国人との出会いと医療-NGOの実践事例から」第2章の3「医療通訳のあり方を考える」医療通訳との連携プレイ 原稿執筆

- ・ 移住労働者と連帯する全国ネットワーク全国大会北海道大会分科会「ことばと医療の未来」事例報告6月24/25日

- ・ イカロス出版株式会社「医薬・薬学の翻訳・通訳完全ガイドブック」取材協力

- ・ 神奈川県自治総合研究センター「NPO等活動交流研修」講師派遣 11月15日(水)

- ・ NPO法人シェア=国際保健協力市民の会「エイズ対策に関わる在日外国人支援NGOの会合」参加11月18日(土)19日(日)

- ・ 神奈川県国際交流協会『「地域の国際化を考える」セミナー～身近にできるボランティア～あなたを待っている人がいる。』パネリスト紹介 2月17日(土)

- ・ SHARE「在日外国人の健康・エイズに関する活動を行うNGOの会合」参加 2月24日(土)

- ・ 従業員人員6名

- ・ 対象者 この法人の活動に関心のある者 多数

- ・ 支出額 事業⑦合計 173,000円

⑧日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

・内容 以下の機関・団体等からの依頼に基づき、翻訳を行った。なお、この事業については個別に取り扱いについて理事会で検討しながら行っていく。

- 1) ことぶき学童保育:「ことぶき学童保育」パンフレット、ことぶき学童保育ニュースター(タガログ語、中国語、コリア語)
- 2) 港町診療所 多言語看板(英語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、中国語、コリア語)
- 3) 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター「医療費について」(コリア語)
- 4) 横浜南共済病院「分娩にかかる入院予約金のご案内」看板(英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語)
- 5) 神奈川県保健福祉部保健福祉総務課「外国籍県民のための保健・医療ガイド」

- ・日時 2006年4月1日から2007年3月31日 ・場所 MIC かながわ事務局 ・従業員人員21名
- ・対象者 法人の事業活動に理解のある団体および個人5名
- ・支出額 事業⑧合計 145,500 円

⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・医療通訳スタッフやコーディネーターの活動による燃え尽き防止や代理受傷などへの対応のために、「メンタルヘルス・ビューロー」(代表 臨床心理士 高塚雄介氏)の協力を得られることになった。割引料金でカウンセリングを受けることができる。
- ・講師派遣、原稿執筆など、内容、日時、場所は以下のとおり
 - ・医療通訳派遣システム構築事業全体にかかる活動
 - ・ニュースレターの発行 郵送やE mail で会員等にニュースレターを6回発行。
 - ・(財)自治体国際化協会「NPO等へのヒアリング調査の実施について」協力 8月15日(火)
 - ・横浜市社会福祉協議会「NPO福祉保健サービス拠点整備費に関するアンケート」協力
 - ・横浜市神奈川区社会福祉協議会 神奈川区地域福祉活動計画策定委員会「地域をつなぐ交流会(パート3)兼分科会報告会」参加 10月16日(月)
 - ・神奈川区役所学校支援・連携担当 生涯学習応援情報誌「ぐるーばる あい」私たちの活動へようこそ 記事掲載
 - ・NPO プロフェッショナル・イングリッシュ・コミュニケーション、医療福祉の国際化を考える特別セミナー「国際視点から見た日本の医療福祉の現状と課題」参加 3月28日(水)
 - ・神奈川力構想・プロジェクト51 2005白書 写真提供

- ・従業員人員 8名
- ・対象者 この法人の活動に関心のある者 多数
- ・支出額 3,126,000円